

2025年10月27日

ヤクルトグループのマテリアリティの再設定について

株式会社ヤクルト本社（社長 成田 裕）は、ヤクルトグループの持続的な成長と企業価値向上を目指し、マテリアリティ（重要課題）の再設定を行いました。2021年に特定した6つのマテリアリティについて、その後の内外環境変化等を踏まえて見直し、今回新たに12のマテリアリティを特定しました。これらのマテリアリティへの取り組みを通じ、長期ビジョン「Yakult Group Global Vision 2030」で掲げた「ヘルスケアカンパニーへの進化」の実現を目指していきます。

記

1. 12のマテリアリティ

長期ビジョン	マテリアリティ
世界の一人でも 多くの人々に 健康をお届けする	安全・安心な製品と情報の提供
	地域社会との共生
	強靱で持続可能なサプライチェーンの構築
一人ひとりに合わせた 「新しい価値」を お客さまへ提供する	地域に根ざした健康の普及
	多様な健康ニーズに応える健康価値の創出
人と地球の 共生社会を実現する	気候変動の緩和と適応
	持続可能なプラスチック容器包装の推進
	持続可能な水資源管理
	生物多様性の保全
事業の成長を支える 人的資本	従事者の健康・安全・安心
	新しい価値を提供できるイノベーティブな人材の育成
	従事者の多様性の尊重

※マテリアリティの詳細については、当社ホームページをご参照ください

<https://www.yakult.co.jp/company/sustainability/materiality/>

2. 再設定の概要

(1) 見直しの背景

近年のサステナビリティ課題への対応に対する社会的要請の高まりや、事業環境および社会課題の変化を受け、現行のマテリアリティを見直しました。また、中期経営計画（2025－2030）の策定や、グループ全体での持続的成長・企業価値向上を目指すため、長期ビジョン「Yakult Group Global Vision 2030」の定性目標に沿って体系的に再設定しました。

(2) 再設定のプロセス

約9か月をかけ、自社視点・社外視点から候補を抽出し、インパクト・リスク・機会（IRO評価）による重要度評価、社内アンケートや有識者ヒアリングによる妥当性検証を経て、最終的に特定しました。

3. 公開先

当社ホームページ（サステナビリティページ）のほか、統合報告書2025、サステナビリティレポート2025に掲載しています。

<ホームページ（サステナビリティページ）>

<https://www.yakult.co.jp/company/sustainability/materiality/>

<統合報告書2025>

<https://www.yakult.co.jp/company/ir/library/pdf/integrated2025.pdf>

<サステナビリティレポート2025>

<https://www.yakult.co.jp/company/sustainability/download/pdf/sustainability2025.pdf>

以上